

涼感みやざき



特集

4Rで「COOL CHOICE(クールチョイス)」

活動レポート

第11期 宮崎県地球温暖化防止活動推進員基礎研修

一步いっぽ 推進員だより

石井妙子さん、甲斐一子さん、興梠瞳さん、
周防郁子さん、曾我部里美さん（五ヶ瀬町）

貸出しツールを使って講座を開こう！



特集 4Rで「COOL CHOICE(クールチョイス)」

4Rとは?

「4R」とは、**Refuse(断る)**、**Reduce(減らす)**、**Reuse(再利用する)**、**Recycle(資源を再利用する)**の4つの頭文字の「R」をとったキャッチフレーズです。初めは、平成12年に公布された循環型社会形成推進基本法において、処理の優先順位は、①発生抑制、②再使用、③再生利用、④熱回収、⑤適正処分とすることを初めて法定化したことから、3R(**Reduce**、**Reuse**、**Recycle**)の考え方方が導入されました。そこからさらに、環境への負荷が少ない循環型社会づくりに向け、日本では、**Refuse(断る)**を加えた「4R」活動が推進されるようになったのです。

但し、宮崎市では**Repair(修理)**を加えた「5R」を推進しており、環境省では、**Reduce(減らす)**、**Reuse(再利用する)**の「2R」を推進しているなど、各地域や団体によってRの内容や数が異なる場合もあります。

ちなみに、欧米では**Reduce(消費削減)**、**Reuse(再利用する)**、**Repair(修理)**、**Recycle(資源を再利用する)**での4Rが一般的なようです。**Reduce**の意味合いも日本と海外では変わってくるようです。

※各単語の読み方…**Refuse(リフューズ)**、**Reduce(リデュース)**、**Reuse(リユース)**、**Recycle(リサイクル)**、**Repair(リペア)**

それぞれの「R」について詳しくみてみよう

①Refuse (断る)

不要なものや余計なものは断ることです。②～④はゴミが発生した後どうするかの手段ですが、これは、ゴミになりそうなものを予め抑制する手段になります。

例・・・レジ袋を断る。

コンビニでの箸やスプーンを断る。

商品は簡易包装にしてもらう。



②Reduce (減らす)

ゴミを減らすことです。一人ひとりがゴミを減らす方法を考えて行動することで、確実にゴミを減らすことができます。

また、ゴミの量を減らすことで、ゴミ処理に使うエネルギーも減らすことができます。

例・・・シャンプーは詰め替えのできる商品を選ぶ。

長く着られるものを選ぶ。

本当に必要なもののみを買う。



③Reuse (再利用する)

まだ使えるものはそのままの形で繰り返して使用することです。

例・・・仕事に行くときや外出するときには水筒・タンブラーを持ち歩く。

着られなくなった服は兄弟で回したり、知人にあげる。



④Recycle (資源を再利用する)

そのままの形で使用できないものを資源として再利用することです。

「リサイクル」はよく「再利用」と訳されますが、「資源を再利用する」という点でリユースと区別しています。

ゴミを分別せず捨ててしまうと、全てが焼却される(CO₂の増加)か埋め立てられ(ゴミ増加)、資源に戻ることはできません。しかし、きちんとゴミを分別し、新たな資源へと生まれ変わることでゴミを減らすことができます。

例・・・ペットボトル・缶・ビンなど、分別をきちんとする。

生ゴミを堆肥化させる。



3R推進月間にCOOL CHOICE

平成14年より、10月はリデュース・リユース・リサイクル推進月間(略称:3R推進月間)と定めていることを知っていますか?国民に対し、3R推進に関する理解と協力を求め、3R関係省庁、地方公共団体、関係団体によって様々な取り組み、行事が行われます。宮崎県でも4R推進のため、マイバックキャンペーン等を行っています。

今年の秋は、自分にできる「3R」や「4R」を「COOL CHOICE」してみましょう。



未来のために、いま選ぼう。

第11期 宮崎県地球温暖化防止活動推進員基礎研修

「STOP! 地球温暖化～私たちの普段のくらしからできることを見直そう～」

平成28年8月2日(火)に宮崎県立図書館、3日(水)に延岡保健所で基礎研修を開催しました。

今回は一般参加者も募集しての基礎研修ということもあり、地球温暖化とは?から学んでいただきました。

パワーポイントやDVD映像を交えた研修では、日本が掲げている二酸化炭素排出量の削減目標は、2030年までに2013年度と比べて26%の削減であり、その中でも増え続けている家庭部門では40%削減を目指していること、また宮崎県においても、家庭部門からの二酸化炭素排出量は、事務所やデパートなどの業務部門よりも多く排出している事をお伝えしました。今回のテーマは「STOP! 地球温暖化～私たちの普段のくらしからできることを見直そう～」でした。二酸化炭素排出量削減を目指す方法として、毎日の食事や衣服などの工夫で、過度な冷暖房に頼らない生活を送ることや、打ち水など昔の人の知恵を生活の中に取り入れることも、改めて地球温暖化防止に繋がる大切な事であるとセンター職員からお話しさせていただきました。

事例発表においては、詠田トキ子氏(宮崎県環境情報センター運営団体みやざきエコの会 理事長)より「4Rの取り組み」についてお話をいただきました。Refuse、Reduce、Reuse、Recycle、これらは、ゴミ減量の大切なキーワードです。宮崎県民一人が1日当たりに排出するゴミの量は969g(平成25年度)とのこと。このゴミをどうすれば減らすことが出来るのかを、県内の小学4年生を対象に、買い物ゲーム(体験型教室)を通して伝える活動を行っており、その様子を写真やクイズを交えてお話ししていただきました。また、出たゴミをどうするかより、出さない工夫が大事だという事をお伝えいただきました。参加者からは「良い品を買えば、次の世代また次の世代へと引き継げるくらい使えるので、購入の際も考えるよう意識づけていきたい」との意見が出されました。

ワークショップでは、『親子向けに温暖化防止を伝えて欲しいという依頼が来ました』というテーマで、参加者ごとにイベントや講演などの企画を考えていただきました。チーム内で発表し合い、その中から、賛同の多かった企画を肉付けしていました。直ぐにでも実施できそうな楽しい企画が沢山溢っていました。



一歩いっぽ 推進員だより

石井妙子さん、甲斐一子さん、興梠瞳さん、周防郁子さん、曾我部里美さん(五ヶ瀬町)



▲石井さん、甲斐さん



▲興梠さん



▲周防さん



▲曾我部さん

～五ヶ瀬町の推進員の石井妙子さん、甲斐一子さん、興梠瞳さん、周防郁子さん、曾我部里美さんにお話を伺いました。～

甲斐さん:私は、5年前に推進員をしていましたが、一人で推進員をすることに限界を感じ、一度引きました。昨年、婦人会の活動の一環で「よこっちょエコクラブ」として、EMバケツを使った生ゴミの堆肥作りをした縁で、五ヶ瀬町役場の秋岡さんに声を掛けてもらい、他にも推進員になる方がいるならと今回推進員になりました。

石井さん:私は、4~5年前に「地球が危ない」という周防さんの講演を聴き、何かやってみたいと思いました。気候のお陰もありますが、夏は扇風機、冬は薪ストーブで過ごす等、地道にエコに取り組んでいます。そして、今回声を掛けてもらい、まだ何も分からぬけど、これから学んでいきたいという気持ちで推進員になりました。

甲斐さん:推進員になって何をして良いかわからなかったのですが、行政が予算や事業の提案をしてくれて、引っ張ってくれるのでありがとうございます。現在、桑野内地区・鞍岡地区・三ヶ所地区にそれぞれ推進員がいます。人がいれば多くのアイデアや情報も集まるので、今後も仲間を増やしたいです。

石井さん:私は今回初めてなので、まずはこんな活動もあるということを友人たちに声を掛けて知ってもらいたいです。

～平成28年8月7日に五ヶ瀬町推進員主催で行った講座を終えて…～

興梠さん:この最初の一歩が後の大きな飛躍となるように尽力していこうと思います。

周防さん:推進員となって最初の行事であり、講師をお招きしての講演会であつたため何かと不安もありましたが、推進員全員の協力、行政との連携により無事に開催できました。これからも、地球温暖化防止のために出来る身近なことから取り組んでいきます。

曾我部さん:勉強になりました。さらに勉強して自分にできることを実行していきます。

～最後に五ヶ瀬町推進員の皆さんから一言!～

「私達と一緒に活動してみらんね♪」



▲講座の様子

イベント情報

ゴミ拾い大作戦&バイオガスプラント見学

自然環境保全、地球温暖化防止を目的に、雄大な景観美の三之宮峡遊歩道のゴミ拾い活動、高千穂牧場バイオガスプラントの見学、乳しぼりなど地球温暖化防止活動体験を開催します。(推進員:津郷初美さんの所属団体が主催)

ゴミ拾い活動後、分別・計測して表彰式なども行います!!

■開催日時:平成28年9月25日(日) 9時から17時まで ※小雨決行

■集合場所:小林市民体育館前集合 ※駐車場はございますが、できるだけ乗り合わせでお越しください

■対象・定員:どなたでも・25名 ※定員になり次第、締め切ります

■参加費:無料 ■昼食代:1,000円

■参加申込:住所、氏名、電話番号を下記携帯かFAXまでお知らせください

■問い合わせ先:津郷 Tel.090-9487-5415、またはFAX.0984-24-0639



第五回 オレンジカフェ

学園台北二丁目の児童公園で開催されるふれあいの広場です。(推進員:田畠秀樹さんの所属団体が主催)

第一部: 地球温暖化防止について学んだ後、L E Dエコランプの作成、餅つき

第二部: いきいき健康体操、観月の会やギター演奏、コーラスなど内容盛りだくさん

■開催日時: 平成28年10月2日(日) 第一部: 15時から18時 第二部: 18時30分から19時30分

※雨天の場合は、平成28年10月9日(日)に延期

■開催場所: 学園台北二丁目児童公園(木花中学校近く) ■参加費: 200円

■問い合わせ先: 田畠(世話人事務局) Tel.0985-58-0257



キャンドルナイトinくしま2016

串間市総合運動公園 陸上競技場～展望台を市民参加で作成した廃油キャンドルで灯します。今回で13回目の開催。

エコメッセージの発表やステージイベント、出店も予定しています。(推進員:河野幸子さんが事務局を担当)

大切な家族・仲間・地域の方々と、ご自宅の電気を消して1つの場所に集まり、楽しいひとときを過しませんか♪

※今年は、環境や失われた命への想いを書き込む、祈りの灯籠50個(4面1メッセージずつ)も会場を彩ります。

■開催日時: 平成28年10月9日(日) 15時30分から19時30分(点火:17時30分)

※雨天の場合は、平成28年10月10日(月・祝)に延期

■開催場所: 串間市総合運動公園(陸上競技場入り口～展望台) ■参加費: 無料

■駐車場: 運動公園及び野球場前 ※できるだけ乗り合わせでお越しください

■対象等: どなたでも。点火用ライターをご持参ください ※子どもは保護者同伴

■参加申込: 祈りの灯籠への書き込み希望者は、当日受付にてお申し込みください。先着200名。

■問い合わせ先: 河野(事務局長) Tel.090-1199-5496



貸出しツールを使って 講座を開こう!



宮崎県地球温暖化防止活動推進センターでは、推進員の皆さまをはじめ自治体・団体に対して地球温暖化や対応策を学ぶための様々なツールの貸出しを行っています。学習会開催の際、開催先に持参し、参加者の皆さんと手に取ってお使いいただけます。ツールは当センターで保管しておりますので、気になるツールがある場合は当センターへお問合わせください。

~IPCCに関する子ども向けツール作成委員会~ツール紹介・第2弾~

今回の特集『こまっているちきゅうさん』

今回は、『こまっているちきゅうさん』をご紹介します。こちらのツールは、巻き物の様に丸めて使用するツールです。前半部分は、地球温暖化の現象⇒原因⇒このままいくと将来は?について。後半部分は、対策⇒予防⇒気づき⇒行動へと繋げていくものです。地球温暖化のしくみの説明、その主な原因である大気中のCO₂(二酸化炭素)が、私たちの生活と深く関わっていることに気づいてもらうことを目的としています。

見て分かりやすいように仕掛けがあったり、登場人物の白くまさん、黒くまさんの手持ち人形もあるので、子ども達に楽しながら学んでいただける貸出ツールとなっております。

巻き物が少し大きいため、巻き物を両方から支えるお手伝いが必要となります。2本に分かれているため、時間配分などで使い分けることも可能です。



宮崎県地球温暖化防止活動推進センター通信「涼感みやざき」

発行: 宮崎県地球温暖化防止活動推進センター(運営: 特定非営利活動法人 宮崎文化本舗) / 編集: 永田詩織

〒880-0014 宮崎県宮崎市鶴島2丁目9-6 みやざきNPOハウス101号

電話: 0985-60-3911 / ファックス: 0985-89-4979 / メールアドレス: mcccoffice@mc3a.org
ホームページ: <http://www.mc3a.org/>